



きらめく風

ホームページ
QRコード→



すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

令和4年度 教育活動にかかわるアンケートの結果について

令和4年度(令和4年12月実施)も保護者の皆様にはアンケートをお願いしましたところ、お忙しい中、多くのご家庭からご回答いただき、ありがとうございました。

ご回答の中では多くの好意的、肯定的な評価をいただきました。また、評価が低かったものにつきましても原因を考え、次年度の課題としていきたいと思っております。なお、児童にも類似したアンケートを実施し、質問内容が重なるところを比較しました。

今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

とてもそう思う
 だいたいそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない
 わからない

○:保護者アンケート

●:児童アンケート

回答率:69%(保護者アンケート)

1 学校についての内容

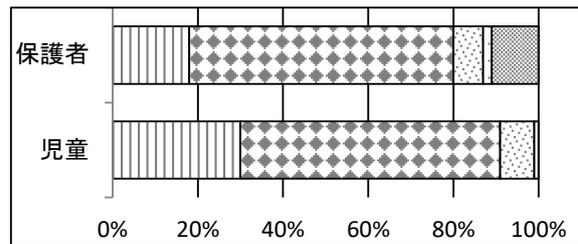
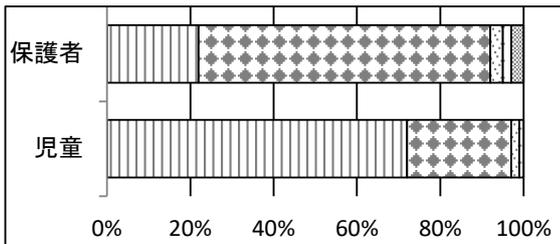
(1)学習指導

○ 学校は授業を工夫し、わかりやすく指導している。

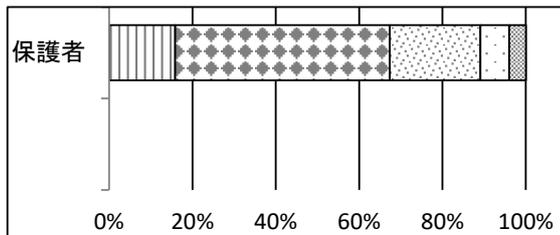
● 先生はじゅぎょうをわかりやすく教えてくれる。

○ 学校は道徳教育を通じて、いじめの指導や心の教育に努めている。

● 学校のきまりをまもって生活している。



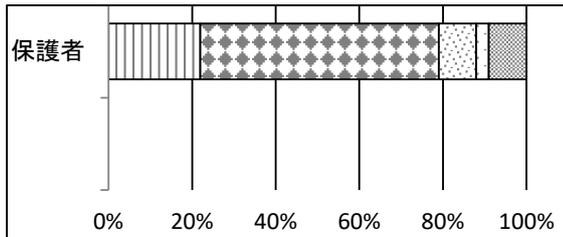
○ 学校はタブレット等のICT機器を活用して、授業を工夫している。



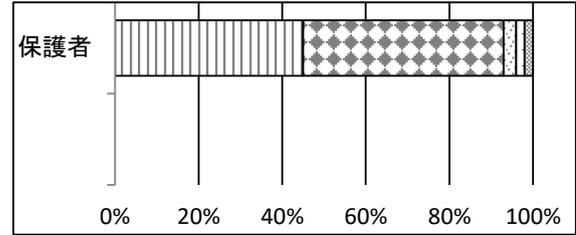
「学校は授業を工夫し、わかりやすく指導している。」の項目では、とてもそう思うと回答した保護者と児童の差が50%でした(昨年度46%)。今後は、さらに授業力向上に努めるとともに、よりわかりやすい授業を土曜授業等で公開していきます。
・タブレット等のICT機器を活用した授業の工夫については、肯定的な回答をした保護者の割合が、昨年度比で3ポイントマイナスでした。今後は、教員の研修を充実させ、タブレット等を活用した効果的な指導を行っていきます。

(2) 教職員の対応

○ 学校は、子どもについての悩みや相談に気持ちよく応じている。

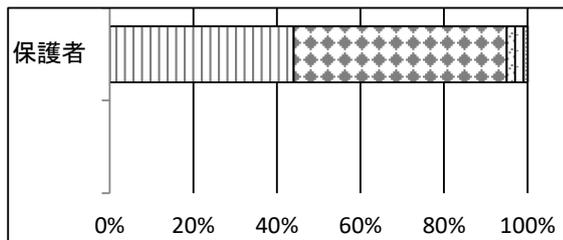


○ 学校は、電話や訪問した際の教職員の対応が適切である。

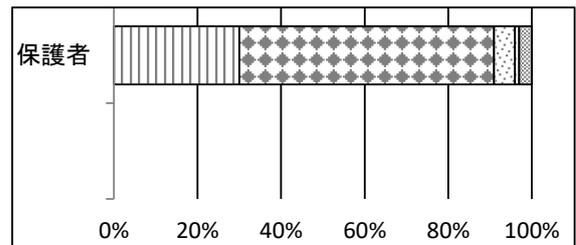


(3) ホームページ、地域との協力、施設設備等

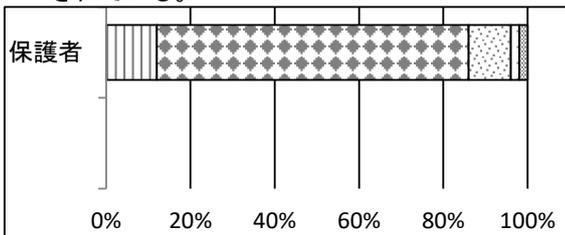
○ 学校は、お便りやホームページ等で教育活動の様子をわかりやすく伝えている。



○ 学校は、保護者や地域の方々と協力して教育活動を行っている。



○ 学校は、施設設備等の教育環境が整備されている。

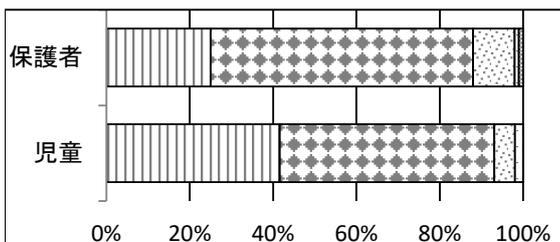


・子どもの悩みについては、教員、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員等が連携を図りながら継続して対応していきます。
 ・保護者や地域の方々との活動については、肯定的な回答をした保護者の割合が、昨年度比で3ポイントマイナスでした。今後は、可能な範囲でPTA行事等を積極的に実施していきます。
 ・施設設備等については、引き続き安全点検を定期的に行っていきます。

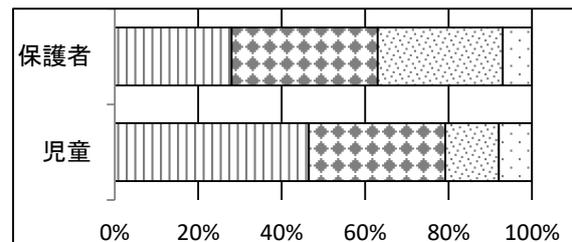
2 児童についての内容

(1) 学習指導

○ 子どもは、学習内容をよく理解している。
 ● 授業で学習したことがよくわかっている。

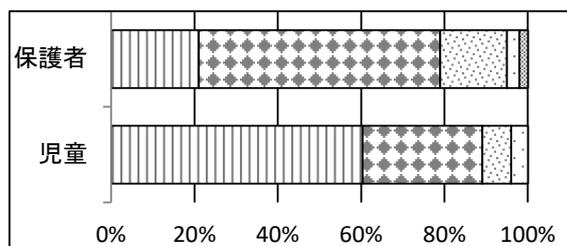


○ 子どもは、すすんで読書をしている。
 ● すすんで読書をしている。

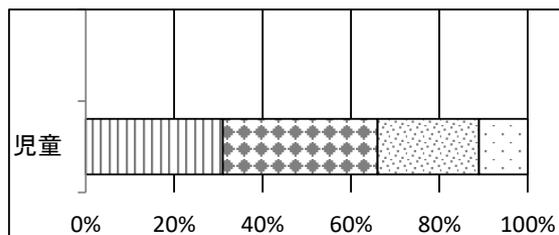


○ 子どもは、家庭学習を通じて、基礎基本を身につけている。

● 宿題をしっかりと行っている。



● すすんで発表をしている。



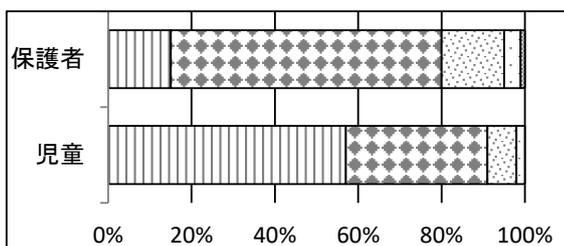
・主体的な読書については、肯定的な回答をした児童の割合が、昨年度比で8ポイントプラスでした。今後は、さらに意欲的に読書に取り組めるような活動を工夫していきます。

・家庭学習については、とてもそう思うと回答した保護者と児童の差が40%でした(昨年度40%)。今後は、意欲を高める宿題を工夫するとともに、ご家庭でも一緒に考えていただけるよう促していきます。

(2) あいさつ、運動等

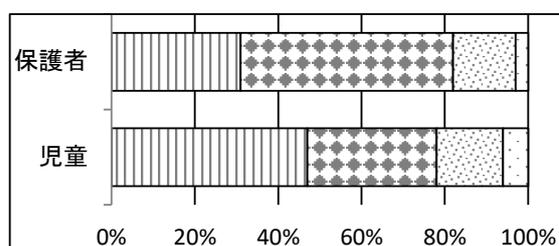
○ 子どもは、あいさつや言葉づかい等の基本的な生活習慣が身に付いている。

● あいさつをしっかりと行っている。



○ 子どもは、すすんで外遊びや運動をしている。

● すすんで外あそびや運動をしている。



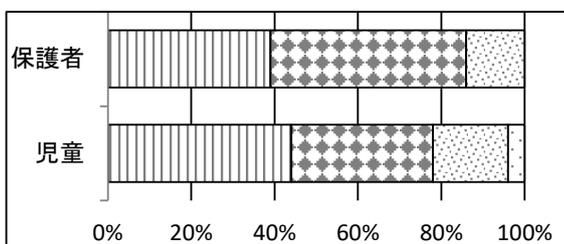
・あいさつについては、とてもそう思うと回答した保護者と児童の差が42%でした。今後は、学校だけでなく、家庭や地域においても主体的にあいさつができるように継続的に指導していきます。

・外遊びや運動については、約8割の保護者と児童が肯定的な回答をしています。今後は、体育の授業をとおして運動の楽しさを味わわせるとともに、体力向上につながる体育的行事をさらに工夫していきます。

(3) 家庭での会話

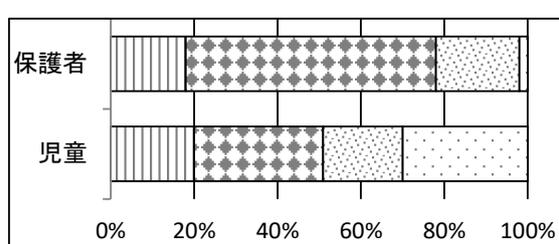
○ 子どもは、学校での出来事について、よく話している。

● 家の人に、学校のことをよく話している。



○ 家庭では、タブレットやスマートフォン、インターネット等の使い方について話し合っている。

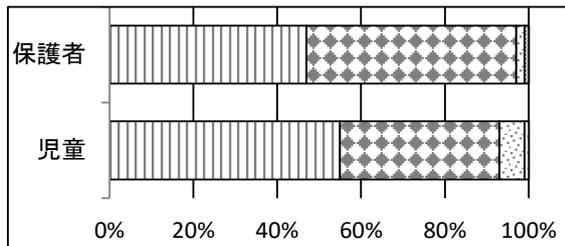
● 家でタブレットやスマートフォン、インターネットの使い方について、話し合っている。



・家庭での会話については、保護者よりも児童の方が肯定的な回答の割合が少なかったことがわかりました。今後は、道徳教育をとおして家族の大切さを考えさせたり、学校の出来事を積極的に話したりするように指導していきます。特に、インターネットの使い方や災害時の約束事などは、家庭内で話し合っておくように促していきます。

(4) 学校生活

- 子どもは、楽しく学校生活を過ごしている。
- 学校生活は楽しいと思う。



・学校生活の楽しさについての質問では、9割以上の保護者と児童が肯定的な回答をしました。今後も学習、生活、行事等の教育活動全体をととして、新型コロナウイルス感染予防に努めながら児童の育成を行っていきます。

3 学校評議員より

* 学校評議員会 2月10日(金)実施

- ・授業見学をしたが、児童が静かに教師の話を聞いている姿や楽しく活動している姿が見られた。
- ・旭町小の児童は伸び伸びしている印象がある。地域性が原因なのかと思う。
- ・タブレット自体が重く、ランドセルに入れたらさらに重いものを背負う児童の健康面が心配だ。
- ・ひろばのスタッフも、児童に積極的にあいさつをするようにしている。あいさつのできる児童と一緒に育てたいと思っている。
- ・ひろばでも、3年生が下級生のお世話を積極的に行っている。学校の縦割り班活動の成果ではないかと思う。
- ・保護者は忙しいと思うが、児童の宿題の様子をもう少し見てあげると、学習の理解度等も把握できると思う。
- ・今後のPTA活動については、教員の業務負担軽減につながるような活動を設けていくことで、学校をサポートしていきたい。
- ・学校でも家庭でもあいさつが大切である。
- ・教員の下校指導等、普段の仕事の様子を見ていると働き方改革が必要だと思う。
- ・幼稚園でも現金徴収をなくし、会計処理をデジタル化した。しかし、ITに詳しい職員が少なく、詳しい職員が不在になった場合、デジタル業務を継続していけるかどうかの問題である。